

支援企業様・支援者様

Hana Sakas

The logo for 'Hana Sakas' features the text 'Hana Sakas' in a grey, sans-serif font. The letter 'a' in 'Hana' is replaced by a pink cherry blossom petal. The letter 'a' in 'Sakas' is replaced by a large, solid red circle. The text is centered on the page.

「HANA sakaso プロジェクト with Mother Love」

2011年9月 活動報告書

I 活動概要

9月の活動として下記を行いました。

1、花の植え込み

- ①復幸シンボル大鉢（直径 1.2m）作成
- ②花壇整備
- ③仮設住宅へのプレゼント鉢の寄植え作成 630 鉢

2、復幸イベント参加・支援

- ①仮設住宅へのプレゼント鉢のお届け
- ②プレゼント鉢の寄植え作り
- ③BIGパエリア提供
- ④アロマハンドマッサージ
- ⑤雑貨ハンドメイド教室

復幸イベント概要	
タイトル	『がんばっぺやまもと 鎮魂・復幸・支援感謝の集い』
日時	2011年9月11日（日） 10:00～15:00
会場	宮城県亘理郡山元町立 山下中学校（校舎・体育館・校庭）
主催	やまもと子供と大人とみんなで遊び隊
対象	山元町町民
内容	・校舎・体育館を使用しての約30のイベントブース ・野外ステージ ・屋台7か所 ※上記に HANA sakaso プロジェクトの他にも多数の団体が参加。

Ⅱ 花の植え込み

1、スケジュール

日にち	内容
9月6日	資材・鉢花の搬入
9月6日	復幸シンボルの大鉢作成
～	山下中学校 花壇の整備
9月10日	仮設住宅へのプレゼント鉢作成

2、活動報告

- 株式会社埼玉園芸市場様より大鉢（1）、鉢（630個）、鴻巣花き株式会社様・鴻巣花組合様より鉢花（2,400pot）をご寄付頂きました。
- 9月6日、埼玉から支援先拠点の山下中学校へ、^{くぬぎ} 欄 商事様ご協力による4tトラック2台、プロジェクトメンバーの軽トラック・軽ワゴン車各1台にて、花・鉢・資材等の搬入を行いました。
- 山下中学校の生徒さん、山元町の花大好きグループの皆さん、プロジェクトメンバーにより、花壇整備、仮設住宅へのプレゼント用寄植え鉢の作成をしました。
- 復幸シンボル大鉢『Pray for tomorrow 明日への願い』制作。（作：武内比登美）
- 10日・11日 復幸イベント準備等のお手伝い。



積み下ろされた花苗と土・肥料など



復幸シンボルの制作



花の説明



仮設住宅へのプレゼント寄植えを作る中学生



仮設住宅へのプレゼント寄植えを作る花大好きグループの皆さん



この子達の未来にたくさんの花が咲きますように・・・



花壇の植込みアドバイス



花壇整備



園芸ボランティアの中学生と

Ⅲ プレゼント鉢のお届け

- 復幸イベント当日 9 月 11 日（日）に、花の寄植え約 630 鉢を仮設住宅の方々へ 1 軒 1 軒お届けしました。
- 寄植えは、事前に中学生や花大好きグループの方々、プロジェクトメンバーが作成。また、当日イベント会場 の山下中学校で来場者（地元住民の方々）に作成して頂きました。
- イベント開始後の 10 時 30 分から、プロジェクトメンバー 6 名が 3 台の車にて、山下中学校と仮設住宅を数回往復し、1 軒 1 軒に一人が一鉢ずつ手渡し致しました。
午後 4 時過ぎから、寄植え作り・アロマ・ハンドメイドブースの担当メンバーも加わり、午後 6 時過ぎに配達作業終了。



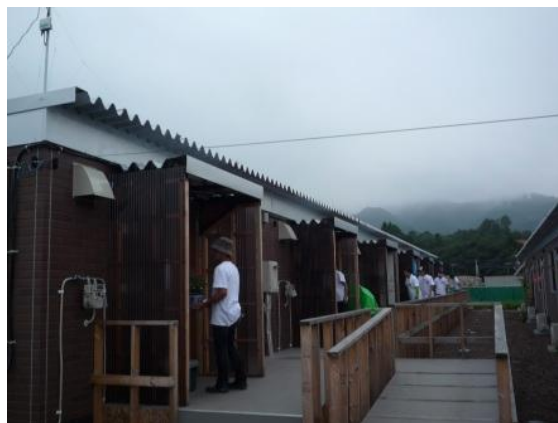
プレゼント鉢の積み込み



仮設住宅を往復するメンバーとの打合せ



仮設住宅



1 軒 1 軒に、一鉢ずつ手渡しで・・・



鉢植えを大事に抱えて



仮設住宅の方々も外に出てきてくれました

IV プレゼント鉢の寄植え作り

- 山下中学校の1階テラスにて「寄植えプランターづくり」を行いました。
- イベントに来場された地元住民の方々に、仮設住宅にプレゼントする花の寄植えを作って頂くコーナー。完成した寄植え鉢は、プロジェクトメンバーによって、仮設住宅の方々へ届けられました。
- 参加して下さった方にも、お礼としてベゴニア・ナデシコ等のポット苗をプレゼントしました。



V BIGパエリア

- 山下中学校 昇降口前スペースにて、BIGパエリアの調理デモンストレーション、炊出しを行いました。
- 川越スペイン市場様が資材・材料・人員・運搬等の提供をして下さいました。
- デモンストレーション開始時から沢山の方が集まり、試食も大盛況でした。また、完成時にはパエリアは花の形に作られ、その大きさ・迫力は圧巻。沢山の笑顔を見ることができました。



クレーン車で搬入・設営



デモ開始後は沢山の見物客が



厨房を再現



大鍋から立ち上る湯気



徐々に形作られ・・・



花の形に！



間もなく完成



試食時には長蛇の列が

VI アロマハンドマッサージ



- 山下中学校の教室にて、プロジェクトメンバーが担当し、①足浴
②アロマテラピーでのハンドマッサージ及びレクチャーを行いました。
- アロママッサージを通して、癒しの輪・コミュニケーションの輪が広がるようにという思いから「参加された方がまた別の方へマッサージをしてあげられる」という視点でのレクチャーを行いました。
- 女性の参加が多かったものの、なかには11歳の男子児童もレクチャーを受けてくれました。
- 随時個別に行う事で、参加された方とゆっくり話す事ができ、ひと時の癒しの時間を提供することができました。



VII 雑貨ハンドメイド教室



- 山下中学校の教室にて、プロジェクトメンバーが担当し、ハンドメイドワークショップを行いました。
(題材：くるみボタンを使用したかわいい髪ゴムづくり)
- 使用した「くるみボタンキット」や資材の一部、約100名分を株式会社大総産業(100円ショップ ザ・ダイソー)の社長様が提供して下さいました。
- 小中学生の女子児童グループ、女性グループや、親子連れ等女性を中心に沢山の方が参加して下さいました。
- 「つながる何か」というテーマから、イベント後も参加者が身近な方とも楽しさや嬉しさが共有できるよう、簡単なラッピングをしてプレゼント風に仕上げました。
- 参加者はグループ内や隣の方とも布選びや作り方を相談しながら、和やかに作成されていました。また出来上がると「できた!」「かわいい!」「嬉しい!」等の声とともに笑顔が広がりました。



プロジェクトメンバーの声

プレゼント鉢のお届けなど

- ❖ 「わざわざ埼玉から来て下さってありがとうございます。土いじりができて気持ちが癒されます。」との言葉を頂いた。
- ❖ 中学校でのイベントのお手伝い・お花作りと仮設住宅へのお届けをさせていただきました。小さな力だなと感じました。小さな力の積み重ねが大事なこともわかりますが、もっと大きな規模の手助けがまだまだ必要だと強く感じました。
- ❖ 何をしているのかと尋ねてきた仮設住宅の住民の方（年配の男性）に「お花をプレゼントさせて頂いています。」と答えると「花？・・・花は俺も庭でたくさん育てていたけど・・・みんないなくなった。」と暗い表情で話された。その後も会話を続けていると「ありがとう。花はいいよな。」と嬉しそうに言って下さった。この方にとって、花は家族同然だったのだな。そしてその花でまた繋がることのできるのだなと思った。
- ❖ ちゃんと受け取ってもらえるだろうか、うまくメッセージが届けられるだろうか・・・。このような心配で最初低かったメンバーのモチベーションは、最初のひと鉢をお届けした時点で一気に高まった。受け取って下さる住民の皆さんの笑顔の明るいこと！
「ありがとう」「遠いところからよく来てくれたねえ」「うわぁ～、お花は大好きなのよお」
「本当にごくろうさまぁ。大変だったねえ」そうした温かい言葉数々。わたし自身もそうでしたが、メンバーの表情が一気に変わったのが分かりました。

アロマハンドマッサージ・雑貨ハンドメイド教室

- ❖ 11才の男の子にアロマセラピーのハンドマッサージのレクチャーをしたら「家に帰ってからお母さんやおばあさんにやってあげる」と言っていました。
ハンドマッサージで家族への優しい想いを伝えることができたなら本当に嬉しいです。
- ❖ 30代の女性がハンドマッサージをしているときに目を閉じ「すごく気持ち良くて眠くなりました」と言われました。今まであまり自分のためにゆっくり過ごせる時間がとれなかったのかな、お疲れがたまっているのかな、と感じました。
- ❖ ハンドメイドワークショップに参加した中学生から「作った髪ゴムをママへのプレゼントにしたい。」という声があった。小さな雑貨がコミュニケーションのきっかけとなれたことが嬉しかった。

プロジェクトメンバーの声

BIGパエリア

✿今まで“ボランティア”というと、気恥ずかしいような、くすぐったいような気持ちと共に、売名行為と思われるのではないかというような気がしていた。

しかし、今回被災地を目の当たりにし、また自分が作ったパエリアを食べて喜んでくれている顔を見て、もっと早く行動にうつせばよかったと思った。

今回参加できたことを心から感謝している。

支援依頼をくださった渡辺校長先生から

11日（日）には素晴らしい企画と組織力、行動力には敬服しました。

山元町民の心に永遠に残る物でした。

感謝しか言葉が見当たりません。

当日の支援はさりげない姿勢ですが、企画や準備、組織・資金など計り知れない緻密な計画が手に取るように私には映りました。敬服しました。支援は作業そのものが目的になってしまいがちですが、支援のみんなが何を求めているのかを考えながら一緒に汗を流し、一步、自立していく手助けをしていただきました。

山下中学校避難所では震災当時から、避難者の自立を想定しながら人と人のコミュニケーションを大切にしてみんなで出来ることをみんな考えて行動したことを思い出しました。日本の底力は本物だと感動しています。いつになるか分かりませんが恩返しは是非したいです。これが「絆」なのでしょう。皆さんによろしくお伝え願います。

メンバーのツイッターへのフォロー（仮設住宅の不在だったお宅の方から）

「戸口に立派な鉢に綺麗なお花。どうもありがとうございました。地震前まで野良仕事に励んでいたのに今はねてばかりのばあちゃんもよろこんでいます。」

VIII 支援者一覧

(敬称略 順不同)

◆支援頂いた企業様

- ・ワイズティーネットワーク株式会社
- ・株式会社彩賓館
- ・東名ホームズ株式会社
- ・田村建設株式会社
- ・有限会社HANAMICHI
- ・スペイン市場
- ・ダンデライオン
- ・アロマ&エステ 若世
- ・欄商事
- ・株式会社ビッグアート
- ・(有) キャセイトレーディング
- ・ビッグアート
- ・株式会社 草土出版
- ・(株) 大総産業 (100円ショップ)
- ・生活骨とう 時空
- ・サロン ティアラ
- ・ブリックプロダクツ東京株式会社
- ・有限会社カノウハウジング
- ・エクステリアオリーブ
- ・鴻巣市花組合
- ・鴻巣花き株式会社
- ・株式会社埼玉園芸市場
- ・工藤建設株式会社

◆応援メッセージを頂いた方々

- ・タレント・俳優 山口良一
- ・ワイズティーネットワーク株式会社 代表取締役社長 根本泰昌
- ・タウン誌編集者 ひらひでこ
- ・有限会社キャセイトレーディング 代表取締役 鈴木潔
- ・ガーデン工房 結-YUI- 向井康治
- ・株式会社埼玉園芸市場 代表取締役社長 大野秀雄
- ・田村建設株式会社 代表取締役 田村勇二
- ・鴻巣市鴻巣花組合 組合長 金井章浩
- ・株式会社草土出版 白澤照司
- ・スペイン大使館
- ・深谷市役所 企画財政部次長 吉田次郎
- ・HANAMICHI 代表取締役 小泉安弘
- ・新宿区議会議員 根本二郎
- ・鴻巣花き株式会社 代表取締役 竹内行雄
- ・元NHKキャスター 現フリーアナウンサー 須磨佳津江
- ・北鴻巣クリニック 院長 井上修士
- ・アヌ ワレマディーナ マスジット
イマーム Hafiz Faizullah
- ・埼玉県花と緑の振興センター 副所長：落合

IX 今後の予定

- 10月 花壇作りスタート
- 11月 球根植えスタート (ビニールハウス設置予定)
- 12月 クリスマスリース作り講座 (プロジェクトメンバー担当)
- その他
 - ・未提供の仮設住宅方々への寄植えプランターのお届け
 - ・シンボルアート制作